

関係各位

一般財団法人日本ドッジボール協会

## 日本スポーツ協会公認ドッジボール指導員〔正指導員〕資格取得の案内

2019年度以降の指導者制度計画に関して、当協会主催大会における標記資格取得の位置づけとともにお知らせいたします。

昨年、日本スポーツ協会より、日本体育協会からの名称変更とともに、今後5年間の日本におけるスポーツの発展計画となる「日本スポーツ協会スポーツ推進方策2018」が示されました。その中には公認スポーツ指導者の育成充実による資質の向上に加え、公認スポーツ指導者数の増加目標についても明記されました。

関連する当協会の動きとしては、2013年の日本体育協会加盟を契機とした指導者制度の抜本的な見直しと、公認指導者講習会の開催を通じて、指導者としての理念や心構え、正しい知識や技能を兼ね備えた、地域社会から信頼される指導者の養成が挙げられます。

現在まで講習会を受講された方は順調に増加し、公認指導者資格(準指導員区分Ⅰ・区分Ⅱ・日本スポーツ協会公認ドッジボール指導員〔正指導員〕)を取得・登録された方々は2,800名を超えました。正指導員数も37人の方にご登録をいただいております。皆様のご協力に改めて感謝いたします。

一方で、その間もドッジボールを取り巻く環境は広がりを見せました。小学校卒業後も競技者として活動を継続を希望する児童は、毎年全国大会参加6年生の7割以上で推移し、実際に競技者登録に至る方も2018年度までに1300名以上となっています。また、海外においても、従来の東アジア圏からさらに外へ活動の幅を広げています。今後も、目的の多様化の動きは止まることは無いと思われまます。

これらの状況を踏まえ、当協会としては、加盟団体の一員として「日本スポーツ協会スポーツ推進方策2018」への積極的な寄与は改めて重要と判断致しました。専門的な知識、指導方法、高度の指導技術を習得した、より優れた指導者の育成に努めることで、急激な社会の変化と多様化に意欲的に対応し、スポーツ文化の発展に貢献する競技団体を目指して、引き続き正指導員の増加に取り組んでいきたいと考えます。

まずは、2024年4月からのD-1、D-1G、シニア登録チームに、正指導員を位置づけます。それに向けて、5年間で段階的に正指導員資格取得に向けて下記のように取り組んでいきます。

### 記

- I 2019年～2021年  
D-1、D-1G ベンチ入り役員全員準指導員区分Ⅰ以上取得  
シニア ベンチ入りチーム役員1名以上準指導員区分Ⅰ資格取得
- II 2022年、2023年  
D-1、D-1G、シニア **ベンチ入りチーム役員全員準指導員区分Ⅰ以上取得**  
**且つ、内1名以上準指導員区分Ⅱ以上取得**
- III 2024年  
D-1、D-1G、シニア **ベンチ入りチーム役員全員準指導員区分Ⅰ以上取得**  
**且つ、内1名以上正指導員取得**

資格取得に向けたスケジュール等

	2019	2020	2021	2022	2023	2024～
D-1 D-1G	ベンチ入りチーム役員 全員準指導員区分Ⅰ取得者			ベンチ入りチーム役員 全員準指導員区分Ⅰ取得 且つ、内1名以上 <b>準指導員区分Ⅱ取得者</b>		ベンチ入りチーム役員 全員準指導員区分Ⅰ取得 且つ、内1名以上 <b>正指導員取得者</b>
シニア	チーム役員1名以上準指導員区分Ⅰ資格取得					
集合学習④	JDBA指導委員会		JDBA指導委員会 ブロック指導委員会	ブロック指導委員会 (JDBA指導委員会)		

- ◆ 集合学習④の講師は、正指導員（日本スポーツ協会公認ドッジボール指導員）
- ◆ 正指導員になるためには、準指導員区分Ⅱ資格取得と日本スポーツ協会「共通科目Ⅰ」を取得し、日本スポーツ協会に申請が必要です。正指導員認定手続き方法は、日本スポーツ協会でご確認ください。申請してから時間がかかることがありますので計画的に進めてください。